



Powered by creativity



TDK. The electronic components company.

2013年3月期 第3四半期決算説明会

2013年1月31日
TDK株式会社

◆ 2013年3月期 第3四半期連結業績概要

2013年3月期 通期見通しについて

代表取締役社長 上釜 健宏

◆ 2013年3月期 第3四半期連結業績概要補足

執行役員/経理部長 桃塚 高和

◆ 記録デバイス事業について

ヘッドビジネスグループゼネラルマネージャー

石黒 成直

2013年3月期 第3四半期連結業績概要 2013年3月期 通期見通しについて

TDK株式会社
代表取締役社長
上釜 健宏

2013年3月期 第3四半期連結業績概要



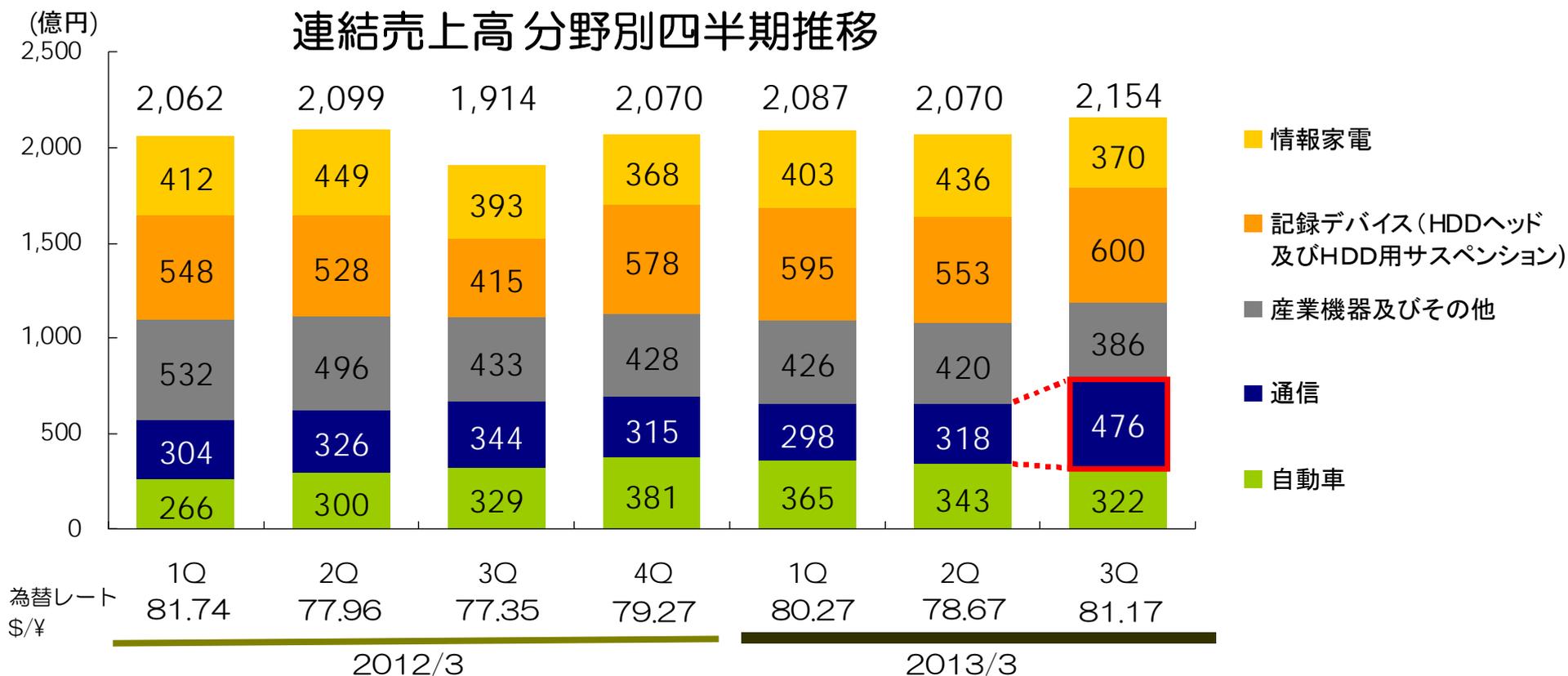
(億円)	2012年3月期 第3四半期累計実績 (2011.4.1~2011.12.31)	2013年3月期 第3四半期累計実績 (2012.4.1~2012.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	6,075	6,310	236	3.9
営業利益	219	255	36	16.4
営業利益率	3.6%	4.0%	0.4 pt	-
継続事業税引前利益	150	212	62	41.5
当期純利益	△ 49	101	151	-
1株当たり利益(円)	△38円15銭	80円59銭	-	-
為替	対ドルレート	79円1銭	80円3銭	1.3%の円安 7.7%の円高
	対ユーロレート	110円76銭	102円24銭	
為替変動による 影響金額		売上高：約25億円の増収 営業利益：約4億円の増益		

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

2013年3月期 第3四半期決算のポイント

- HDD市場は例年に比べ低調ながらも、HDDヘッドの販売は想定を上回って推移
- 通信市場向け販売は第2四半期比50%増加
 - ✓ 主に二次電池、高周波部品の販売が増加
- マグネットの販売が主に自動車市場向けに想定を大きく下回って推移

(マグネットは“その他磁気応用製品”に含まれます)



※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

2013年3月期連結業績予想



事業環境の変化及び為替動向を踏まえて通期業績予想を修正

(億円)	業績見通し (10月31日時点)	第3四半期 累計実績	業績見通し (1月31日時点)
売上高	8,500	6,310	8,350
営業利益	410	255	190
税引前当期純利益	370	212	140
当期純利益	200	101	20

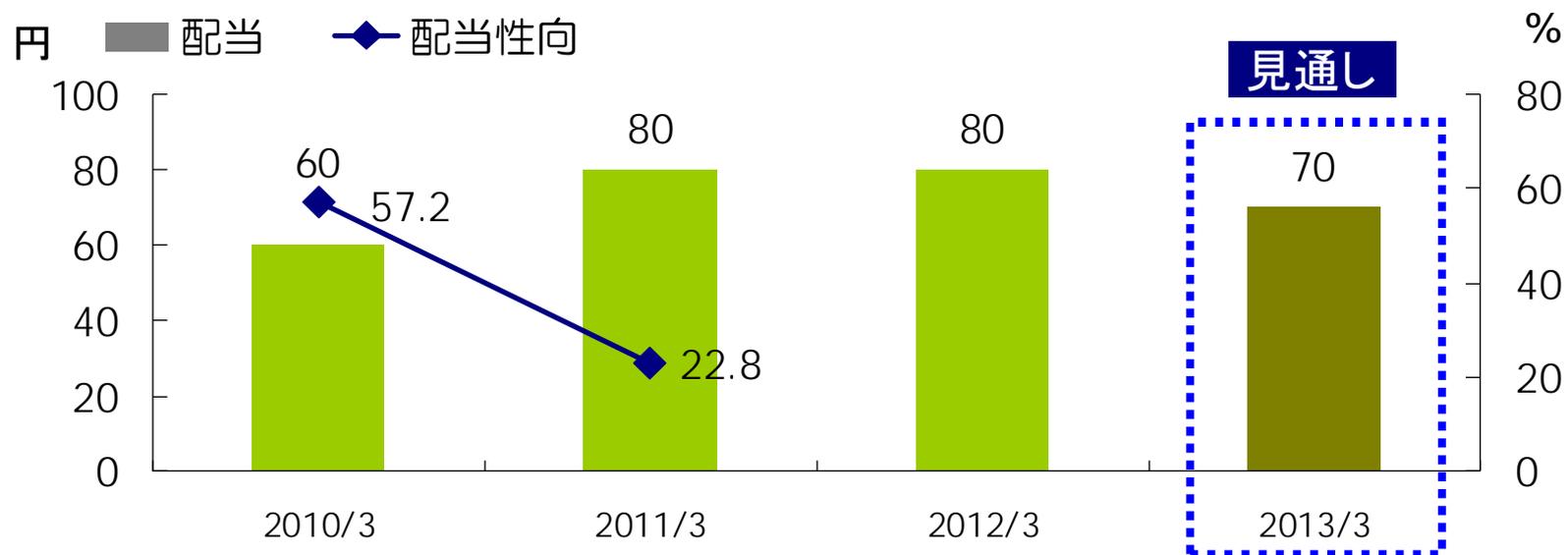
2013年3月期第4四半期の平均為替レート想定

対米ドル：85円（前回想定：77円）

対ユーロ：115円（前回想定：100円）

◆ 1株当たり配当金見通しの修正

中間配当金（実績）	40円
期末配当金（見通し）	30円（前回見通し：40円）
年間配当金（見通し）	70円（前回見通し：80円）



事業ポートフォリオ
見直し推進

- 非中核事業からの撤退

生産拠点最適化

- 国内外拠点の統廃合推進
(統廃合公表済み以外の拠点が対象)

経営の効率化

- 迅速な事業戦略実行体制確立

14年3月期にかけて実施

- 迅速な事業戦略の実行
- 強化すべき中核事業への経営資源集中
- コスト構造の改善

2013年3月期 第3四半期連結業績概要

TDK株式会社
執行役員/経理部長
桃塚 高和

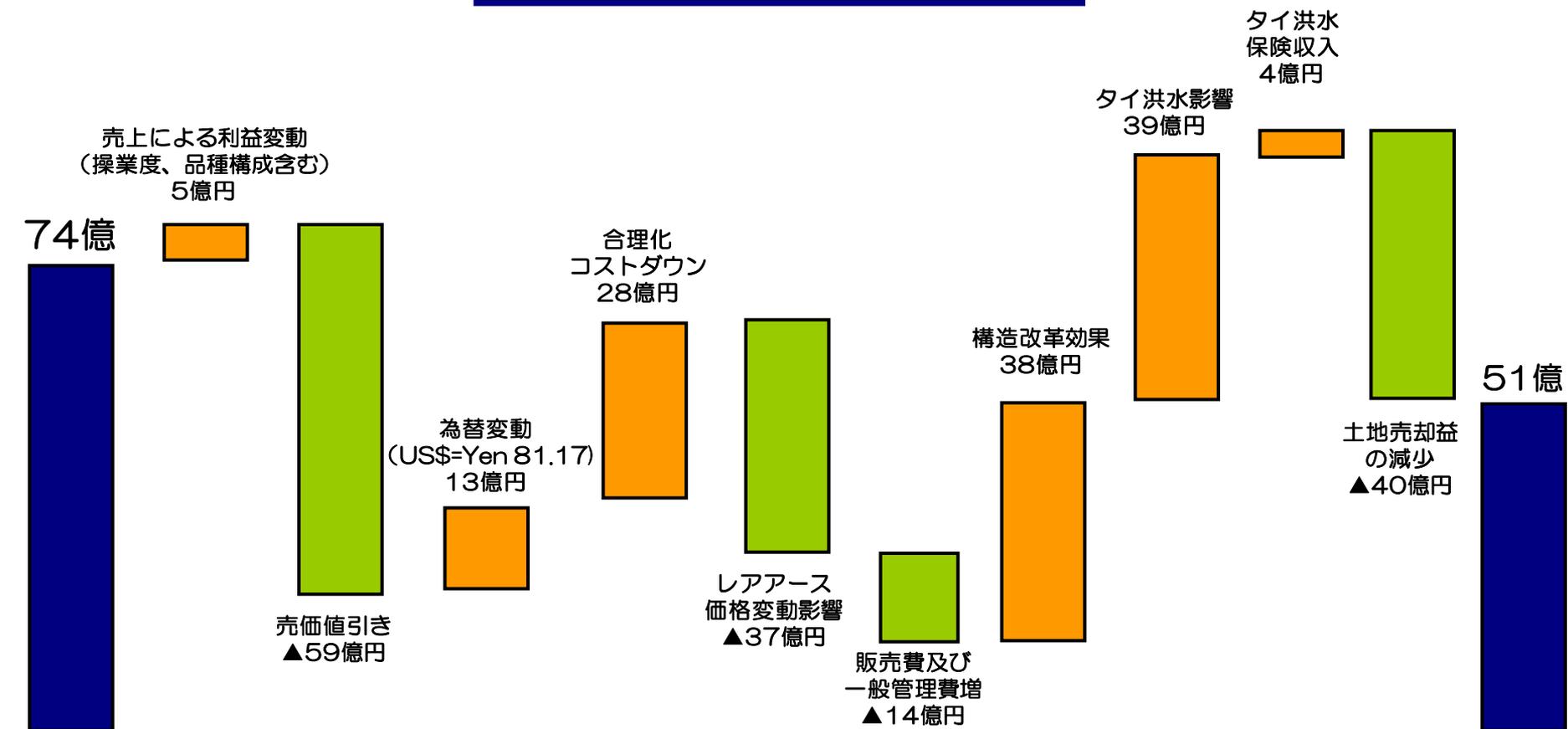
2013年3月期第3四半期 連結業績概要



(億円)	2012年3月期 第3四半期実績 (2011.10.1~2011.12.31)	2013年3月期 第3四半期実績 (2012.10.1~2012.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	1,913	2,154	241	12.6
営業利益	74	51	△ 23	-31.3
営業利益率	3.9%	2.4%	△1.5 pt	-
継続事業税引前利益	36	29	△ 7	-18.9
当期純利益	-116	4	121	-
1株当たり利益(円)	△ 90.24	3.33	-	-
為替	対ドルレート	77円35銭	81円17銭	4.9%の円安
	対ユーロレート	104円30銭	105円28銭	0.9%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約87億円の増収 営業利益：約13億円の増益			

第3四半期営業利益増減分析

営業利益の減少 23億円



2012年3月期
第3四半期

2013年3月期
第3四半期

2013年3月期第3四半期 連結業績概要



(億円)		2012年3月期 第3四半期 (2011.10.1~2011.12.31) (A)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1~2012.9.30) (B)	2013年3月期 第3四半期 (2012.10.1~2012.12.31) (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
		増減	増減率(%)	増減	増減率(%)			
売上高	コンデンサ	306	292	266	△ 40	-13.1	△ 26	-8.9
	インダクティブデバイス	286	296	306	20	7.0	10	3.4
	その他受動部品	304	317	360	56	18.4	43	13.6
	受動部品合計	895	906	931	36	4.1	25	2.8
	記録デバイス	420	558	602	182	43.3	44	7.9
	その他磁気応用製品	260	276	240	△ 20	-7.7	△ 36	-13.0
	磁気応用製品合計	680	834	842	162	23.8	8	1.0
	フィルム応用製品合計	282	277	330	49	17.3	53	19.1
	その他	57	52	50	△ 7	-11.7	△ 2	-3.8
	合計	1,913	2,070	2,154	241	12.6	84	4.1
営業利益	受動部品	15	△ 25	△ 18	△ 33	-	7	-
	磁気応用製品	70	132	75	5	7.5	△ 57	-43.2
	フィルム応用製品	29	50	36	7	23.8	△ 14	-28.0
	その他	△ 7	△ 5	△ 6	1	-	△ 1	-
	小計	108	152	88	△ 19	-18.1	△ 64	-42.1
	全社および消去	△ 34	△ 41	△ 37	△ 4	-	4	-
	合計	74	112	51	△ 23	-31.3	△ 61	-54.5
営業利益率		3.9%	5.4%	2.4%	-	-	-	-
為替	対ドルレート	77円35銭	78円67銭	81円17銭				
	対ユーロレート	104円3銭	98円28銭	105円28銭				

下半期為替前提
米ドル:77円
ユーロ:100円

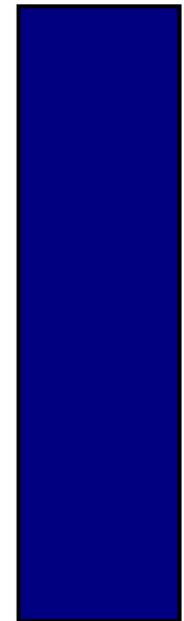
営業利益の減少 220億円

第4四半期
為替前提
米ドル:85円
ユーロ:115円

第3四半期為替実績:
米ドル:81.17円
ユーロ:105.28円

為替変動
51億円

410億円



数量増減
(コスト改善効果
未達含む)
▲184億円



稼動損
▲52億円

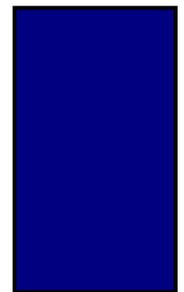


レアアース
価格変動影響
▲25億円



構造改革費用
▲10億円

190億円



前回
(12年10月)

今回
(13年1月)

2013年3月期4Q 連結売上高増減イメージ

セグメント 区分	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 予想 (対3Q比)	備考
受動部品	915	906	931	+2~4%	
磁気応用製品	882	834	842	-8~-10%	HDDヘッド及びマグネットの 販売が減少見込み
フィルム 応用製品	232	277	330	-17~-19%	二次電池の販売が顧客生産調整 により減少見込み
その他	58	52	50	-5~-10%	
合計	2,087	2,070	2,154	-5%	

為替レート \$/Yen 80.27 78.67 81.17 (4Q前提) 85.00

記録デバイス事業について

ヘッドビジネスグループ
ゼネラルマネージャー
石黒 成直

●HDD市場

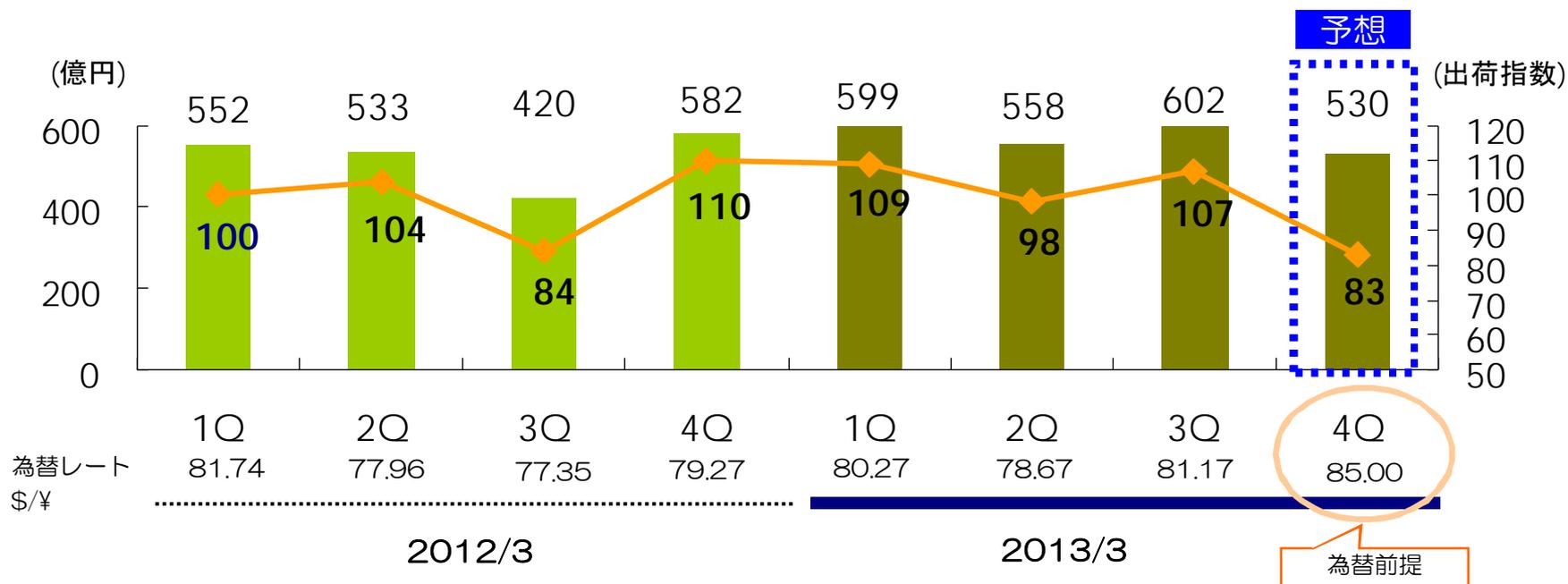
2013年3月期（10月末時点当社予測）：約5億7,500万台

2013年3月期（1月末時点当社予想）：約5億6,600万台

●出荷指数

■ 記録デバイス売上高（左軸、HDD用ヘッド及びHDD用サスペンションを含む）

◆ ヘッド（HGA）数量出荷指数（右軸、2012年3月期第1四半期の出荷数量を100とした場合の指数）



補足資料

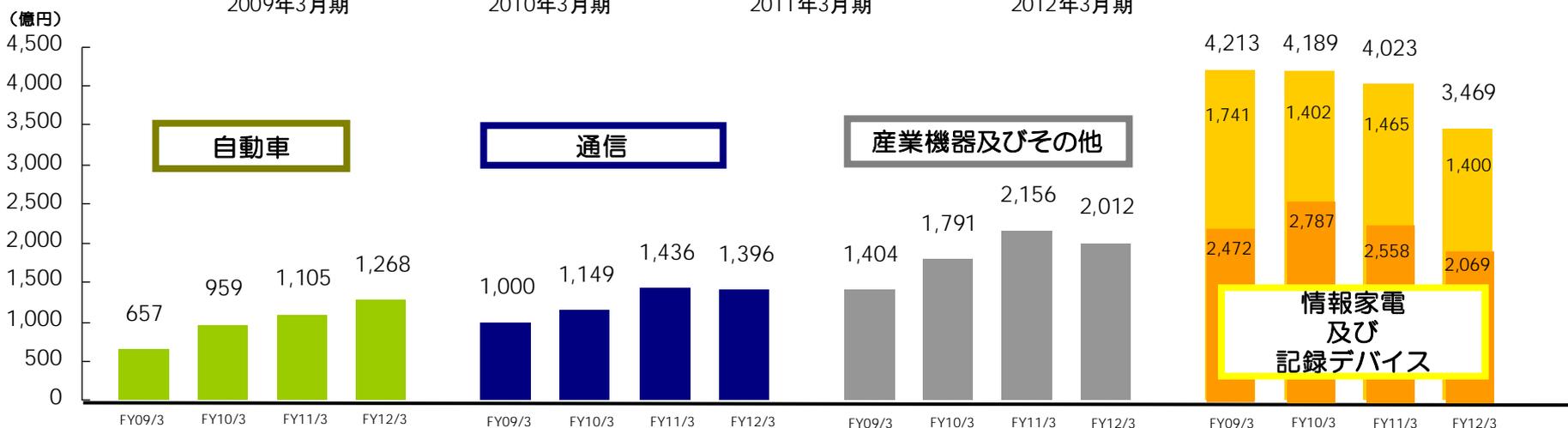
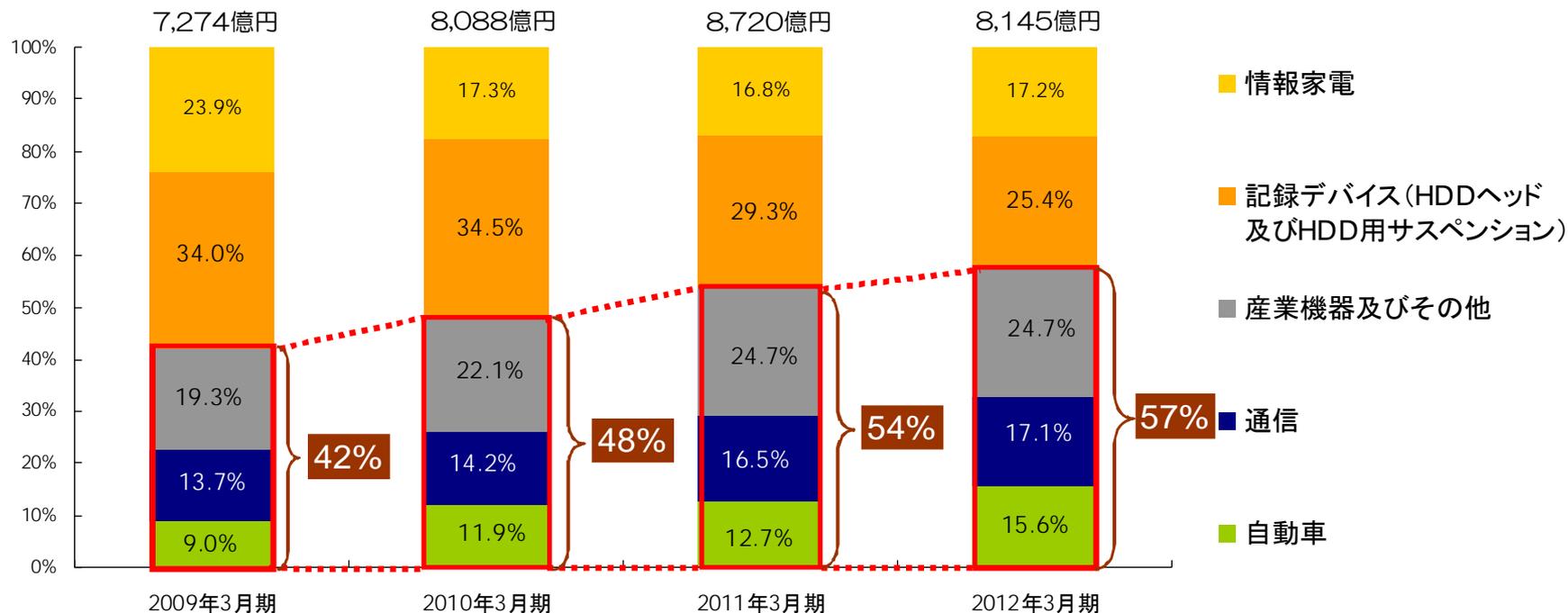
売上高及び営業利益の四半期推移



		2012年3月期					2013年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	(億円)										
	コンデンサ	361	342	306	316	1,324	314	292	266		
	インダクティブデバイス	329	314	286	284	1,212	282	296	306		
	その他受動部品	328	344	304	305	1,280	318	317	360		
	受動部品合計	1,017	999	895	905	3,816	915	906	931		
	記録デバイス	552	533	420	582	2,087	599	558	602		
	その他磁気応用製品	244	277	260	297	1,077	283	276	240		
	磁気応用製品	796	810	680	878	3,164	882	834	842		
	フィルム応用製品	180	224	282	242	927	232	277	330		
	その他	67	66	57	46	238	58	52	50		
合計	2,062	2,099	1,913	2,070	8,145	2,087	2,070	2,154			
営業利益	受動部品	38	13	15	△ 132	△ 66	△ 29	△ 25	△ 18		
	磁気応用製品	86	95	70	140	390	146	132	75		
	フィルム応用製品	12	26	29	△ 5	63	21	50	36		
	その他	△ 4	△ 12	△ 7	△ 26	△ 48	△ 4	△ 5	△ 6		
	小計	132	122	108	△ 23	338	134	152	88		
	全社および消去	△ 72	△ 37	△ 34	△ 9	△ 151	△ 42	△ 41	△ 37		
合計	60	85	74	△ 32	187	92	112	51			
為替	対ドルレート	81.74	77.96	77.35	79.27	79.07	80.27	78.67	81.17		
	対ユーロレート	117.62	110.42	104.30	103.94	109.06	103.18	98.28	105.28		

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

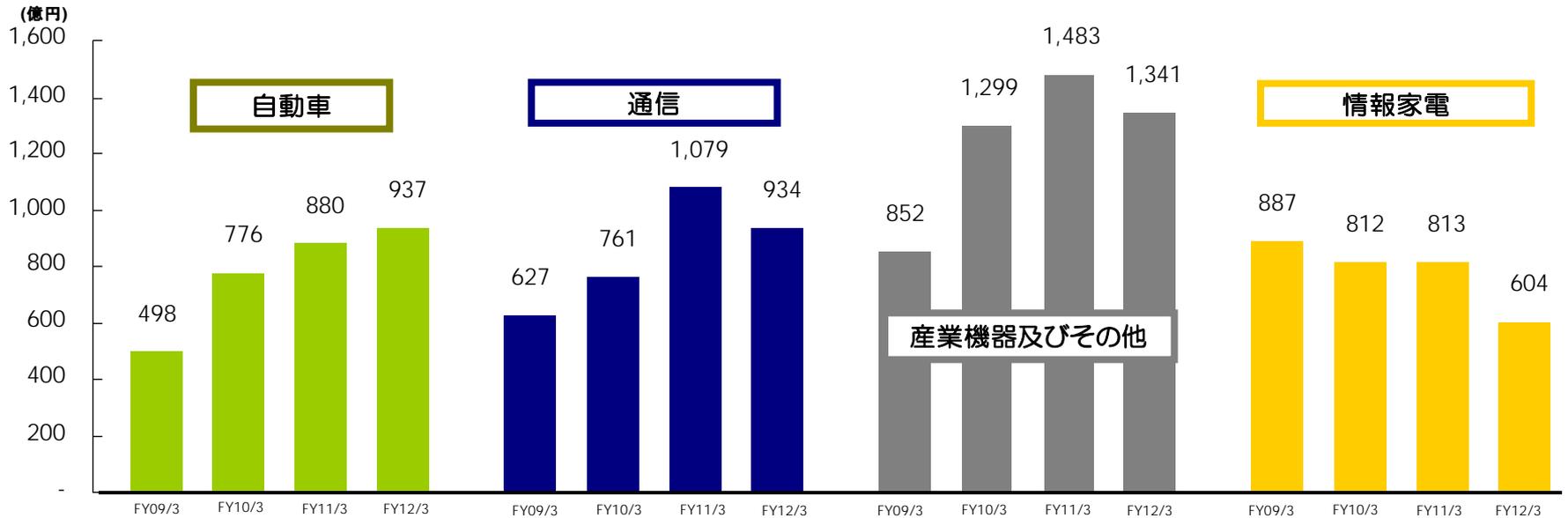
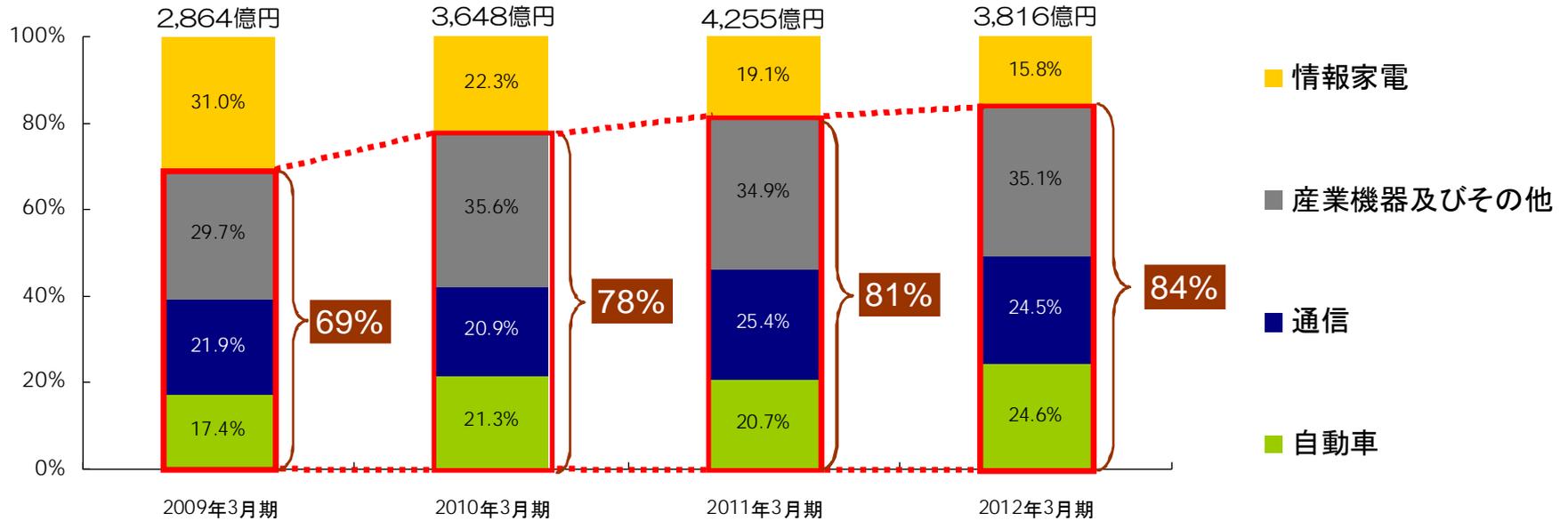
全社 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2012年3月期)



※2009年3月期の下期よりエプコス連結

※2009/3～2010/3までは非継続事業（ディスプレイ事業）を含む実績値、2011/3以降は非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

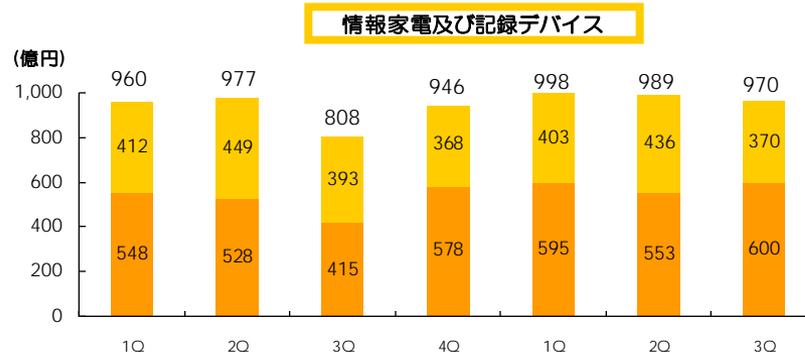
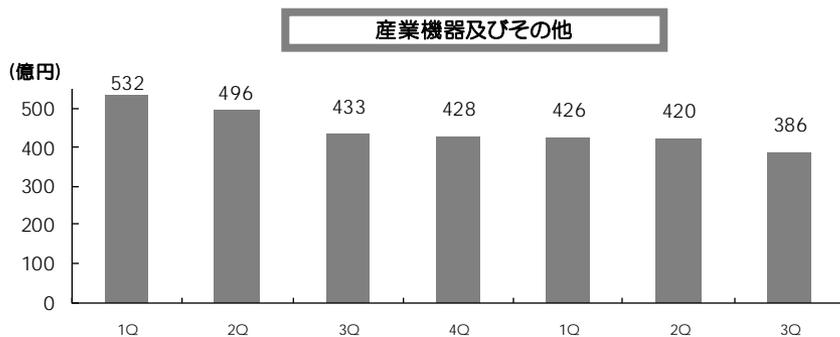
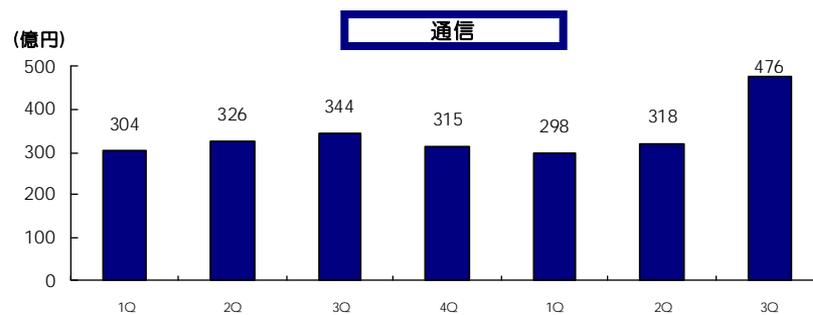
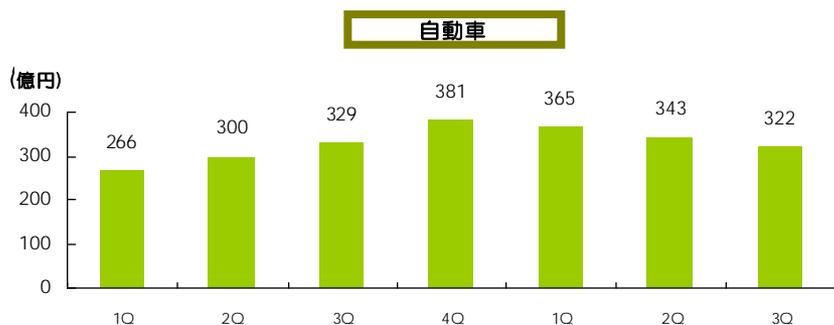
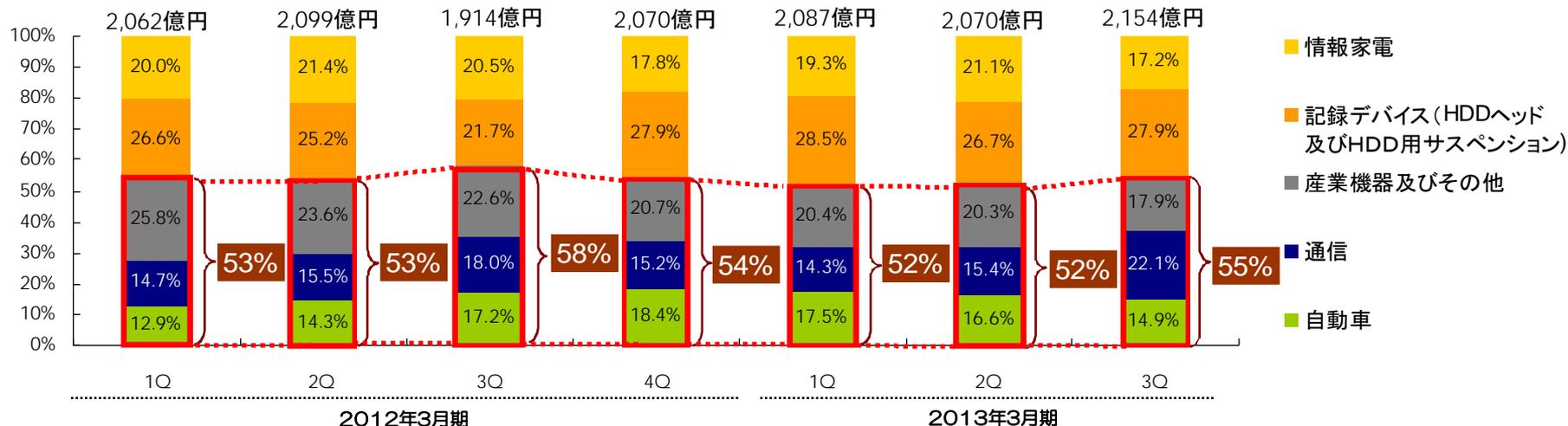
受動部品 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2012年3月期)



※2009年3月期の下期よりエプコス連結

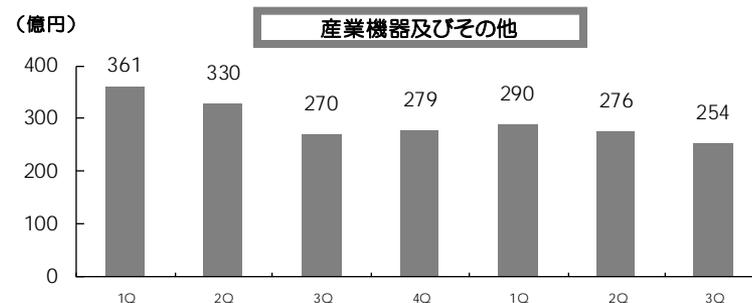
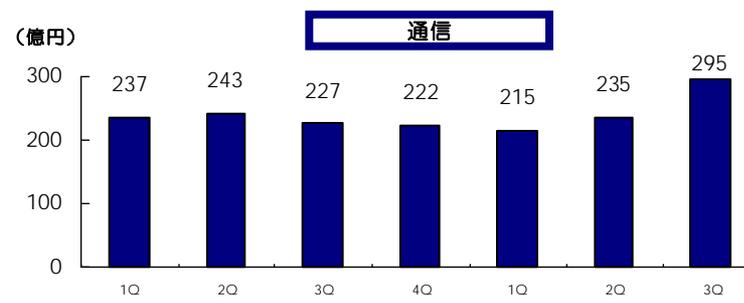
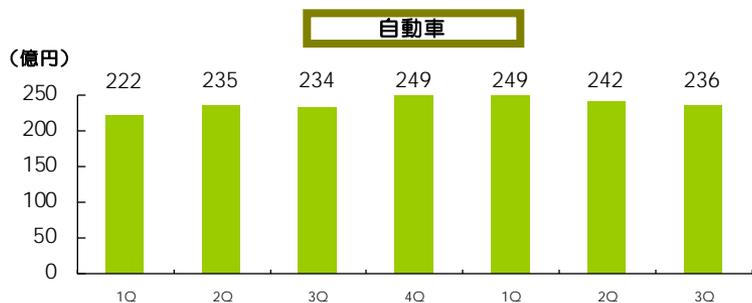
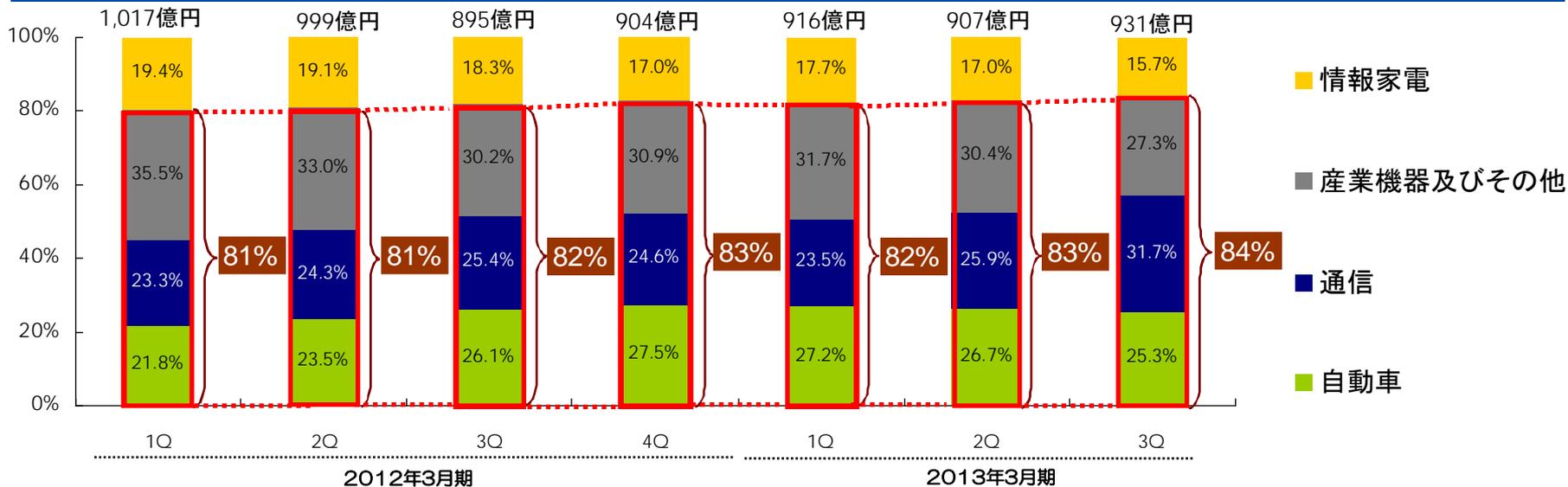
※2009/3～2010/3までは非継続事業（ディスプレイ事業）を含む実績値、2011/3以降は非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

全社 分野別四半期売上高推移 (2012年3月期1Q~2013年3月期3Q)



※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

受動部品 分野別四半期売上高推移 (2012年3月期1Q~2013年3月期3Q)

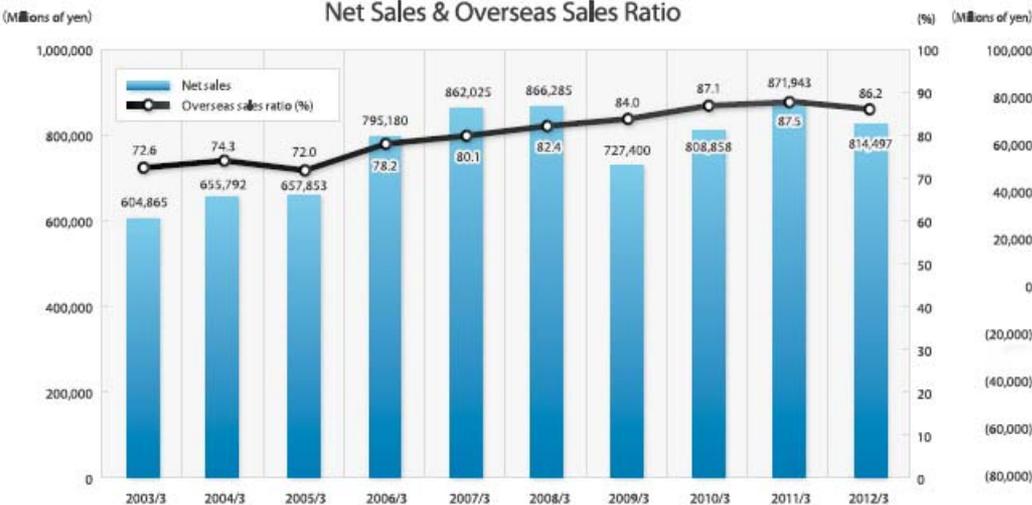


※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

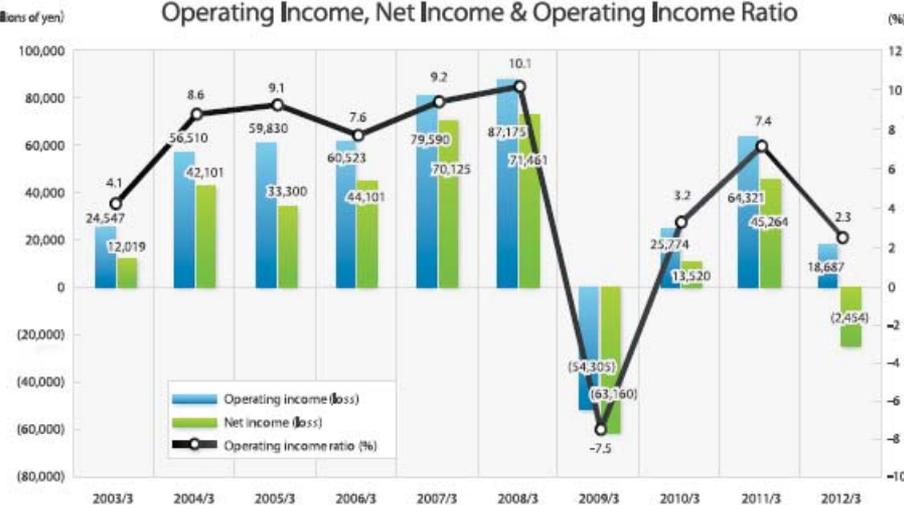
(億円)	2012年3月末	2012年9月末	2012年12月末	対9月末比 増減
総資産	10,728	10,481	11,250	769
負債合計	5,608	5,634	5,810	176
うち有利子負債	2,728	2,841	2,885	44
株主資本	4,982	4,696	5,265	569
(うち包括利益)	△ 2,308	△ 2,643	△ 2,026	617
株主資本比率	46.4%	44.8%	46.8%	2.0pt

(億円)	前回見通し (10月31日時点)	第3四半期 累計実績	業績見通し (1月31日時点)
固定資産の取得	800	633	800
減価償却費	780	562	780
研究開発費	510	393	510

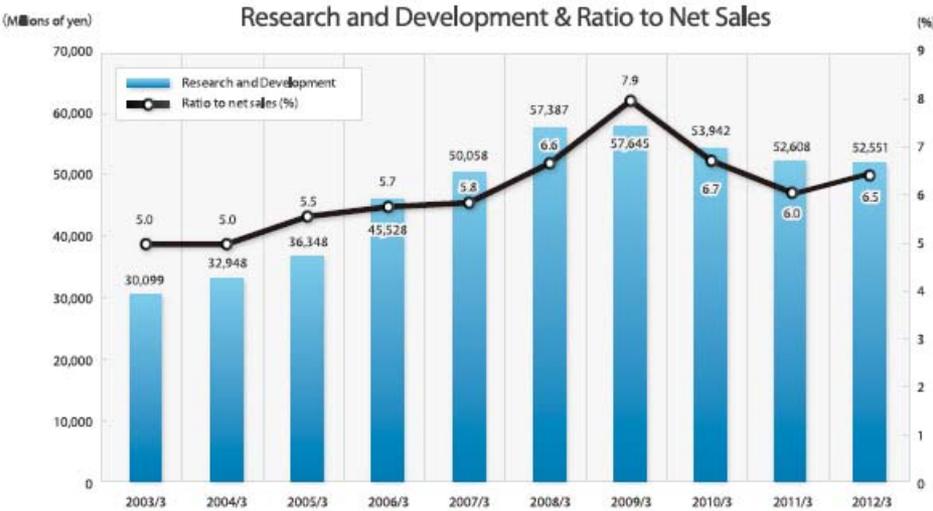
Net Sales & Overseas Sales Ratio



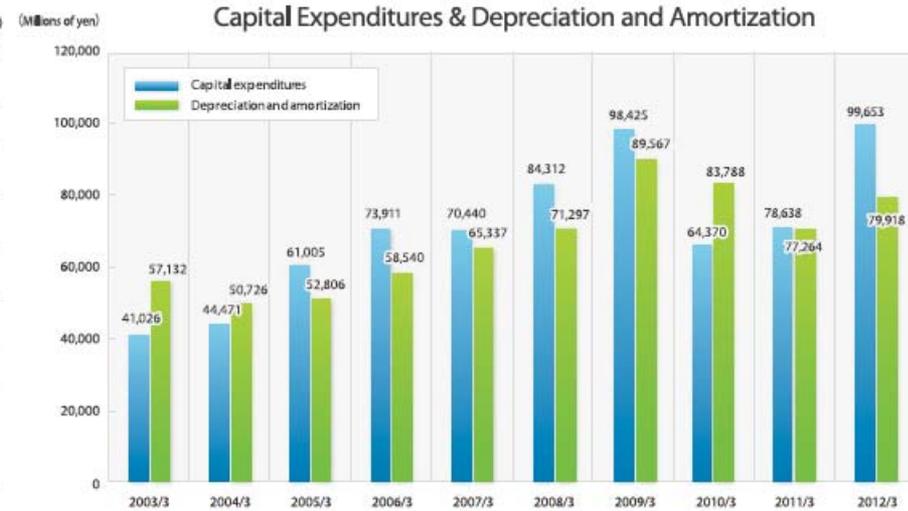
Operating Income, Net Income & Operating Income Ratio

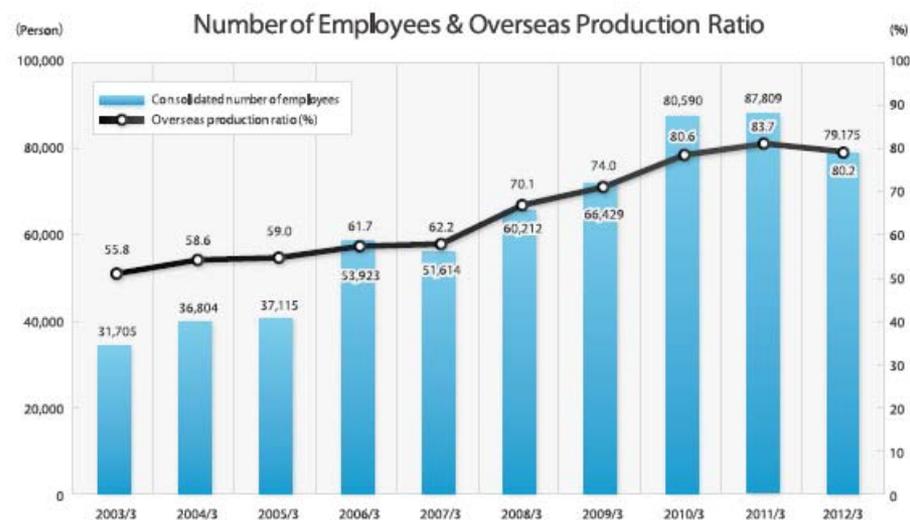
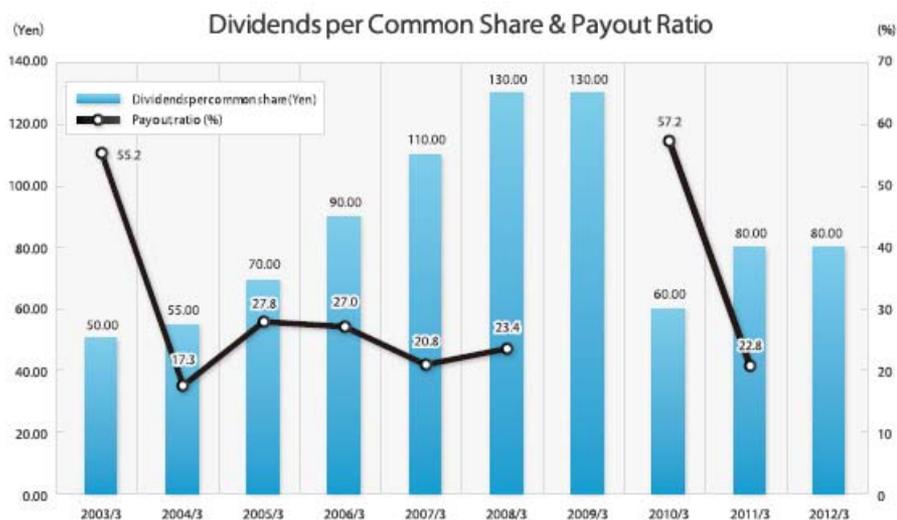
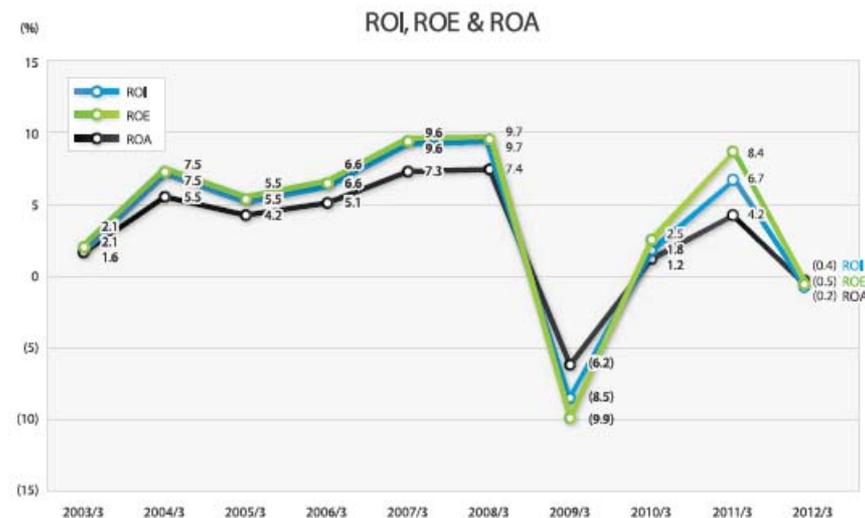
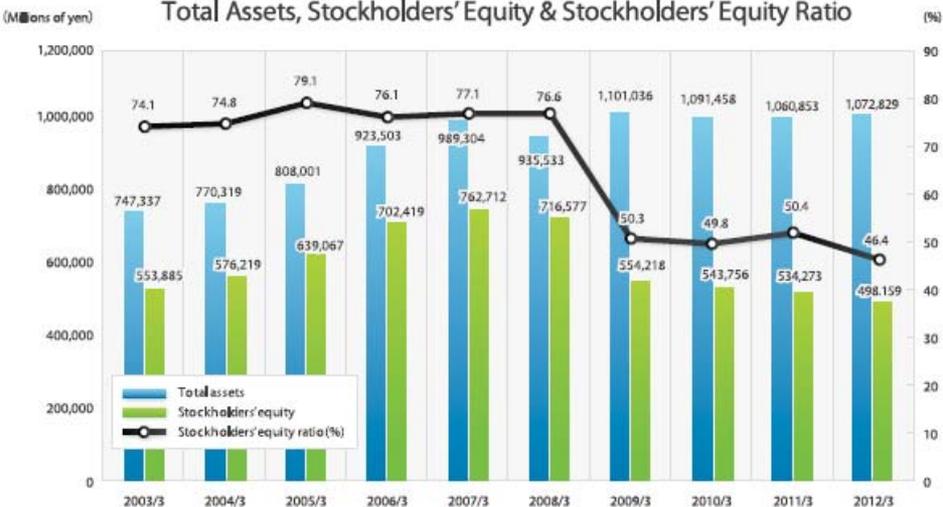


Research and Development & Ratio to Net Sales



Capital Expenditures & Depreciation and Amortization





説明会資料に関してご留意頂きたい点

当社の事業のセグメントは、**前期より**「受動部品」、「磁気応用製品」及び「フィルム応用製品」の3つの報告セグメントとそれらに属さない「その他」に分類しております。

従前セグメント

セグメント	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット、 記録メディア
その他	エネルギーデバイス(二次電池) 、メカトロニクス(製造設備)等

報告セグメント

+

その他

現行セグメント

セグメント	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット
フィルム応用製品	エネルギーデバイス(二次電池) アプライドフィルム(旧記録メディア)
その他	メカトロニクス(製造設備)等

報告セグメント

+

その他

「磁気応用製品」に属していた「記録メディア」は、一部製品の終息及びセパレータ事業の買収により主要製品が機能性フィルム製品へとシフトしていることから、「アプライドフィルム」と名称を変更し、コア技術や市場等において類似性があるエネルギーデバイスとともに、前期より新たな報告セグメント「フィルム応用製品」として分類しております。

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/3q_1.htm